



兵庫県美方郡

～地域が誇る「棚田」でおいしい米づくり～ 地元農家を助け、お客様に提供

かぶしきがいしゃゆむらおんせんあたごやまかんこう

株式会社湯村温泉愛宕山観光

WEB サイト：https://www.bokujyo.com/

参入法人の概要

法人形態（リース法人）

代表者名：代表取締役 西坂 修

所在地：兵庫県美方郡新温泉町丹土 1033

設立年次：昭和 47 年 7 月

資本金：4,500 万円

営農形態：土地利用型

主要作物：水稲

経営面積：11ha（うち借入 11ha）

主な販売先：レストラン等自社施設、直売

売上額：1,700 万円

農業従事者数：5 名

●農業に参入した目的を教えてください

レストラン、スキー場、宿泊施設の経営をしていましたが、地元（丹土）集落において、高齢化により耕作ができないなどの課題があること、経営する施設で提供するお米を自社でまかないたいとの思いが重なり、平成 26 年に 7a の農地を借り受けて水稲栽培を始めました。翌年には 14a、3 年目には 5 ha と順調に耕作面積を拡大し、現在では 11ha となりました。



圃場での稲刈作業

●当該土地を選んだ理由を教えてください

昭和 33 年に西坂代表取締役の祖父がこの地でスキー場経営を始めたのがきっかけで、レストラン及び宿泊施設を経営するようになりました。地元集落から耕作ができなくなった農地の作付け依頼があったこと、この地の土質は米づくりに適していると聞き、この地で栽培するお米はおいしいに違いないと思ったこと、さらに地元で農業をやりたいとの思いからこの土地を選びました。



スキー場



レストラン



宿泊施設

●当該作物を選んだ理由を教えてください

地元集落は元々水稲栽培が中心の地域であり、レストランや宿泊施設で提供する安全でおいしいお米を作付けしたいと考え、減農薬でコシヒカリを栽培するようになりました。

●参入にあたって栽培技術面等の課題にどのように対応されましたか

まったく農業をやったことがなかったので、手探りの状態で営農を開始しましたが、地元の農家にお手伝いに行った際に栽培方法を聞いたり、実際に栽培しているところを見て、農業技術を学んで実践しました。

また、農業経験がある非常勤職員も採用しています。

●販売先、販路についてはどのように確保されましたか



収穫したお米は当初、当社が運営するレストランや宿泊施設に来られたお客様に提供していましたが、お米を食べたお客様の口コミにより、購入を希望される方が増えました。このため、個人向けの予約販売を開始しました。

現在、収穫量の約75%が予約販売となっており、残りの約25%を自社のレストランや宿泊施設で提供しています。

このほかに水稻種子用も栽培しており、これらは全量をJAに出荷しています。

●農業参入してみて気づいた（参入するまで気づかなかった）のはどのようなことですか

自社栽培したお米をレストランや宿泊施設で提供することにより、本物志向、お米へのこだわりがあるお客様が増えたように思います。

農業はもっと汚れるものというイメージがありましたが、やってみるとそうでもないことに気づきました。機械化が進んだこともその要因と感じています。

農業にはどうしても省けない作業があること、地元集落の農地は中山間地であることから畦畔が多く、草刈りなど暑い時期の管理が大変なこと、最近は高温や湯水が顕著であり、農業コストは天候に左右されることにも気づきました。

また、預かった農地の水管理や草刈りなどの栽培管理を丁寧にやったことから、地域の方の我々への見方が徐々に変わっていき、耕作できなくなった農地を預けていただくなど、信頼を得ることができたと感じています。



●地域の方との関係について気を付けていることがあれば教えてください

集落の水路の維持等の共同作業に積極的に参加したり、集落営農組織のオペレーターを担ったり、中干しのための水切り等の細かな作業も受託するなど、農地を保全し、地域に貢献することを実践しています。

●今後の経営方針について教えてください

引き続き地域の農地を守る役割を果たすことを重視し、減農薬栽培など環境に配慮した農業に取り組んでいく考えです。令和7年にはみどり認定を取得しており、今後も持続可能な農業経営の推進を図ります。

一方で、現在、農業部門は代表取締役を含め5名体制で運営しており、中山間地域に位置することから、法面管理などの作業負担や作業効率の面で制約があります。このため、地域から作付けの要望があっても、直ちに規模拡大を行うことは難しい状況です。

規模拡大を進めるためには、人材の確保が喫緊の課題となっており、農業大学卒業者や地域おこし協力隊など、新たに若い人を雇用できれば可能だと考えています。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

利益だけを追求すると失敗すると思います。経費を抑えることは重要ですが、地域のニーズに応え、地域との連携を大事にすることが必要だと感じています。

また、地域の特性を生かした企業参入のためにはマニュアルを作成し、実践を通じて地域の信頼を得ることも必要と考えます。